

2015-B

拠出金・基金の
名称

平和的利用イニシアティブ(PUI)拠出金

種 別

イヤーマーク ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】国際原子力機関(IAEA)

【所管官庁担当局課・室名】外務省軍縮・不拡散科学部国際原子力協力室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

平和的利用イニシアティブは、2010年NPT運用検討会議において、クリントン米国務長官(当時)が原子力の平和的利用分野におけるIAEA活動を支えるための財源として設立を呼びかけたもの。本イニシアティブの下、発電分野(原子力発電導入基盤整備等)及び保健・医療(がんの放射線治療等)、食糧・農業(放射線照射による品種改良等)、環境、水資源管理(同位体分析によるトレース等)等の非発電分野における技術協力プロジェクト等を実施。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	935,000	8,500		1米ドル = 110円	100
平成26年度	298,600	3,078		1米ドル = 97円	100
平成25年度	287,000	3,500		1米ドル = 82円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

我が国からの拠出金によるPUIを通じた技術協力は、プロジェクト1件毎にイヤーマークされており、我が国の外交政策との連携を十分に考慮した上で、プロジェクト選定が行われている。IAEAは、北朝鮮の核問題等、我が国の重要関心事項を扱う国際機関であるところ、PUIへの拠出は、我が国の立場について、開発途上国の理解と支持を得ていく上での極めて効果的かつ重要なツールとなっている。また、PUIへの拠出は、“Atoms for Peace and Development”を掲げ、原子力の平和的利用を重視する天野IAEA事務局長の方針と一致、我が国出身の天野事務局長を支援するとの観点からも重要なものとなっている。さらに、PUIは、米国の呼びかけにより設立された基金であり、PUIへの拠出は、日米の協力関係を一層緊密化するとの観点からも極めて有益なものとなっている。